

令和6年度第2回教育課程編成委員会 議事録

【日 時】 令和6年12月2日（月） 10：00～11：00

【場 所】 ころころ医療福祉専門学校老岐校

【委 員】 老岐市社会福祉協議会 会長 末永 榮幸様
老岐市立老人ホーム 所長 白川 昇吾様
特別養護老人ホームハッピーヒルズ 施設長 永田 信弘様
ころころ医療福祉専門学校老岐校 校長 後藤 久志
ころころ医療福祉専門学校老岐校 学科担当 野田比呂恵

【事務局】 ころころ医療福祉専門学校老岐校 学生部 竹尾 真理
村上 健太

- 議 題
- 1 令和7年度教育課程の編成について
 - 2 令和6年度合同就職面談会について
 - 3 国家試験に向けた取組について
 - 4 事業報告並びに今後の予定について（卒業生の進路）
 - 5 卒業生の進路について
 - 6 今後の課題について（委員から総合的なご意見も含む）
 - 7 その他

議 事

事務局：それでは議題に沿って第2回教育課程編成委員会を進めさせていただきます。

（1）令和7年度の教育課程について

（配布資料に基づき、現行の教育課程について確認しながら話を進める。）

校 長：平成29年に「目指すべき介護福祉像」の項目が『12項目』から『10項目+高い倫理性の保持』に変更されていることは例年の説明の通りです。養成施設における2年間の授業時間数は1850以上をクリアすることとなっていますが、本校においては1964時間を確保しています。カリキュラムについても、令和3年度以降変わっておりません。本校では、経営スローガンを「地域のためという精神を大切にし、心のこもった介護が施せる人材の育成」としており、介護についての専門知識や技能の習得だけでなく、利用者に対する介護観や生命観、倫理観をしっかりと指導しています。地域への貢献を踏まえ、本校卒業後に、それぞれの事業所において即戦力として動ける介護福祉士を輩出することも大きな目標としています。

また、留学生は将来的な生活の基盤を日本と考えている者がほとんどであ

るため、日本語力の向上にも力を入れています。

委員の皆様には、本校における具体的な指導法や方策、本校の教育活動や教育課程について、客観的な視点からの気づきや改善点、についてのご意見をいただければと思います。

校長：今年度入学してきた7名の留学生については、かなり日本語能力が高いです。また昨年度入学した22名の学生についても普段の生活や実習、アルバイト等、日常生活の中で日本語も上手く話せるようになってきており、地域の皆様に育てていただいていることに感謝しています。以前ご指摘いただいた連絡事や時間の厳守についても、まだまだアバウトな学生が多い状況ですので、事あるごとに根気よく指導を行っています。

委員：実習やアルバイトでは特に悪い所も見受けられませんし、皆真面目に取り組んでもらっていると思います。

委員：実習前のオリエンテーションでも、日本語の理解がかなりできるようになっていると思います。

校長：実習中は時間も長いため、集中力にける学生も中にはいると思います。巡回指導等で指摘された点については、職員で共有し、その都度学生の方にもしっかりと伝えるようにしています。

(2) 令和6年度合同就職面談会について

校長：コロナ感染症の関係で、ここ2、3年開催ができていなかった合同就職面談会を、今年度再開することができました。日本人学生は壱岐市内での就職を希望していますので、今年度卒業見込みの8名の日本人学生については、就職活動に対する高い意識を持つことができました。また、壱岐市内の介護の現状を知る良い機会となりました。1年生の壱岐市内で就職する予定の留学生や日本人学生にとっても参考になったと思います。

現時点での次年度入学予定者は内部留学生が13名、関東の日本語学科からの留学生が2、3名、日本人が1名の予定です。両高校の卒業生も年々少なくなり、介護職を選択する学生も壱岐高・壱岐商業も少なくなっています。私たち壱岐校がお手伝いできるのは「介護福祉士の資格を取得させ、できるだけ市内の介護施設での就職をサポートする」ことにですが、毎年進路変更や過年度高校卒の受験者もおりますので、3月まで一人でも多くの学生を勧誘したいと考えています。壱岐商業のガイダンスでは現2年生、1年生に7名の希望者がいましたので、ぜひ入学してもらえるように今後も努力したいと思います。

委員：社協も回覧を回し募集活動を行っていますが、現時点での志望者は居りません。しっかりとした資格を持った者が入ってくれることが望ましいと思っているのですが難しいところです。この卒業生は就職後、早くから在職している職員と対等に仕事できるのでたくましいです。

校 長： 次年度の面談会の開催時期は雇用側のニーズに合わせたいと思います。だいたい今年度と同じ時期になると思います。

委 員： 学生さんも、1月末には国家試験があるので、雇用する事業所としては、できるだけ11月までに面談も採用試験も行いたいと考えています。

校 長： この面談会によって、学生達には国家試験・就職への意欲や意識を高めさせる、気持ちを切り替えさせるよいきっかけになっています。

留学生のほとんどは連携施設に奨学金や多くの支援を受けて勉強している学生が多く、卒業後はそこで働くことを前提に本校に通っています。しかしながら、年度末には同じ国の先輩たちやネットワークでの色々な情報や誘いが入ってきます。そのことによって、前年度までは一部の学生に就職先の変更がありましたが、今年度は今のところそのような学生は居りません。

(3) 国家試験に向けた取組について

学 科： 後期より模擬試験の回数を増やしています。全国の模擬試験で、全体で自分がどの位置にいるのか把握させるようにしています。昨年度同様、日本人学生の合格率100%はもちろん、留学生についても合格点レベルまで力をつけさせることを目指しています。昨年留学生2名が合格していますので、今年も一人でも多くの留学生が合格できたらよいと思います。レベル的にも合格までもう少しという留学生が数名います。全学生意識も高くなり国家試験に向けて頑張っています。

今後は、十分に対策の時間を確保させて、客観的に自己の得意、不得意の分野を確認させ、学習方法の工夫を行うように指導します。冬季休業中も、12月23日から27日まで2年生全学生を対象にした補講を行います。

委 員： 私の施設からお世話になっている研修生にもあまりプレッシャーをかけた言い過ぎたりしてはいけないが、合格して卒業するように指導しています。

学 科： 私たち教員も特に日本人学生には、本校で学習する2年間で合格して、就職ができるように指導しています。

校 長： 試験勉強に集中するために、この時期からアルバイトを少しずつ調整する日本人学生もいます。

(4) 事業報告並びに今後の予定について（卒業生の進路含む）

※配布した事業報告プリントをもとに説明

校 長： 先ほどもお話ししました通り、今年度は現時点での受験者は居りません。ただ、今後15名ほどの留学生と、一般の日本人が受験する予定になっています。3月までまだ日は残っていますし、今後も継続して働きかけます。9月には国家試験受験のための卒業予定者29名の仮卒業判定会議を行いました。10月には各中学校の進路説明会に参加しました。たくさんの保護者の方々に説明することができました。学費の援助や社協の支援制度の紹介も行

っています。今月は1年生が施設実習を行っております。今月末には1年生・2年生とも冬休みに入ります。年明けの1月26日は国家試験がおこなわれます。3月4日にはクオリティーセンターつばさで卒業式を行います。今年度もご案内しますのでよろしくお願い致します。

委員： ありがとうございます。予定をできるだけ空けておきます。

(5) 今後の課題について（委員からの総合的な意見を含む）

校長： 途中話をいたしました。年々市内の高校生は減少傾向にあります。そのため、昨年度より多くの留学生を受け入れております。今後学校を存続されるためにも、留学生を含め市外の学生についても目を向けていかなければならないと考えています。玄州会さんは今後も毎年3名程度の外国人を受け入れる予定があると聞いていますので、大変助かっています。学校としても多くの学生を受け入れるために、寮の整備、実習先やアルバイト先の確保など、環境を整えていかなければなりません。壱岐市内においては高校以外にフリースクールができていますが何か情報はありますか？

委員： 精神的なものから不登校等色々な境遇の学生が男女、年齢問わず住んでいるという話です。グループホームみたいな感じもあるようです。地域ではうるさいとの話も上がっていました。

校長： 高校卒業の資格があり、介護に興味があるような者がいないか、今度話に行ってみようかと思っています。本校も進路の一つとして考えてくれればいかなと思っています。

委員： 今年度の日本人学生は8名でしたね。今年卒業する留学生で壱岐市に残る学生は居ますか？

学科： 全員市外の連携施設に就職するため今年度の留学生は壱岐市に残るものは居りません。

委員： 今の高校2年生1年生には入学を希望する生徒はいまのところいるということでしたね。高校卒業後はほとんど島外に出ていく傾向があり、今後は介護に携わる人手が足りなくなりますね。

委員： 施設はあるのに人手が足りなくなれば、施設同士で人材の奪い合いになりますよね。話題になっている103万円の壁や退職するものが多い年などの対応を考えておく必要があります。

校長： 高校のガイダンスや中学校の進路説明会では壱岐市における介護職の必要性と人手不足、卒業後の職場のニーズ等について話をしていますが、これからも今日の話の踏まえた上で、話をしたいと思います。

(6) その他

委員： 就職の際に資格を持っている者はやはり使い勝手があるので、国家試験を合格して就職してくるこの学校の卒業生は職場としては本当にありがたい

です。

私の職場の中では資格を持っていない職員が5名程度います。次年度まで実務者研修を予定しているが、その後は未定です。現在、高齢化によりケアマネージャーが減ってきています。次年度からは、ケアマネージャーを育成する研修ができないかと考えています。若い女性が復職できるように支援ができないだろうかと考えています。この学校ができて、介護・福祉の認知度も上がってきていますので、社協でも呼び掛けてみたいと思います。

校長： 本校でも今年は9月から実務者研修を行っているので、社協開催の分を合わせれば、ほぼ通年受講が可能であったと思います。しかしながら、本校の職員だけの開催は難しいので壱心会全体にお願いして開催しているところ です。

委員： うちの施設も開所10周年を迎えます。いろいろな施設で経験した人が働いていますが、毎年定年者が2名ぐらいつつ出ています。定年後はパートとして働いている者もいます。現状若手が減ってきているので、今のうちに補充していく必要があります。そうしないと将来的には人手不足になると思います。今からも施設の求人は必ずあると思いますが、施設としては、できれば有資格者を雇用したいと考えていると思います。

委員： 市内の公的な施設もニーズはあります。今現在もフルタイムでの募集をかけています。やはり有資格者か実務者研修修了者がほしいです。

委員： 定年の年齢が上がっていますが、毎年確実に定年者がいるために人手は足りなくなります。

校長： やはり壱岐市内における介護人材の育成と確保については壱岐市の大きな課題として捉えていいですね。私たちも養成施設としてその役割を果たせるようになお一層努力をしたいと思います。

校長： 本日はたくさんのご意見をいただきありがとうございました。今年度の委員会はこれで終了になりますが、次年度もどうぞよろしくお願い致します。

事務局： 他にご意見もないようですので、以上をもって令和6年度第2回教育編成委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。